

## IFRS適応に向けてのIT導入のポイント ～モデルによるアプローチ～

### ■セミナー概要:

本年6月に企業会計審議会から「我が国における国際会計基準の取扱いについて(中間報告)」が公表され、国際会計基準(IFRS)の2015年の強制適用が現実味を帯びてきました。IFRSが強制適用されると、経理部門はもちろんのこと、企業全体に大きな影響を及ぼすことが想定されます。そのため、このセミナーでは、IFRSの全体を理解するとともに、IFRS適応の影響を最も受けると目されるシステムの一つである会計システムのポイントを解説します。また、IFRSの基準や導入プロセスのモデル化についてサンプルを交えながら解説します。IT部門、現業部門などのマネージャ、担当者の方だけでなく、経営層や経理・財務部門の方必見のセミナーです。

■日時:2009年10月15日(木) 13:30~17:00(受付開始13:00)

■会場:オービス総研オフィス 8F Alabama & Georgia

〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目13番23号 MS芝浦ビル 8F  
JR山手線・京浜東北線「田町」駅から徒歩8分  
都営浅草線「三田」駅から徒歩10分

■定員:50名

■参加費(1名;税込):一般 5,000円、ITCPAまたはUMTP会員 3,000円

■アジェンダ:

13:30-14:30 第1部:「IFRSの全体理解とIFRSの今後」

講師:坂尾 栄治

14:30-14:45 休憩

14:45-15:45 第2部:「会計システムの視点から見るIFRS」

講師:原 幹

15:45-16:00 休憩

16:00-17:00 第3部:「IFRS—モデルによるアプローチ」

講師:竹政 昭利



### ■講師:

坂尾 栄治 日本IT会計士連盟 代表理事

青山学院大学卒業。一般事業会社で、SEを経験した後、英和監査法人(現あずさ監査法人)にて監査に従事。その後、独立系コンサルティング会社の設立に参画しジャスダックへの上場を果たす。2008年に日本IT会計士連盟を設立し代表理事に就任。連結決算を中心とする、システム導入・業務改善を専門とし、IFRSベースでの連結決算業務支援等の実績を持つ。

公認会計士

—日本公認会計士協会 東京会 コンピュータ委員会 副委員長

原 幹 日本IT会計士連盟 専務理事

大手監査法人にて、会計監査・連結会計パッケージソフトウェアの導入コンサルティング・事業管理支援・原価計算整備支援等のプロジェクトに従事。ITコンサルティング会社数社にてシステム構築・プロジェクトマネジメント支援・業務改善コンサルティングに携わった後、2007年に株式会社クレタ・アソシエイツを設立、現在に至る。内部統制コンサルティング・ITプロジェクト推進支援・経理担当者向け内部統制・国際会計実務養成講座の講師業務等に携わる。

公認会計士・税理士・公認情報システム監査人(CISA)

—株式会社クレタ・アソシエイツ 代表取締役

—原幹公認会計士事務所 代表 (クイントット・マネジメント・パートナーズ メンバー)

竹政 昭利 株式会社オービス総研

1985年に株式会社CSKに入社。AI(人工知能)関係のシステム開発に従事。1994年に株式会社オービス総研入社後はオブジェクト指向システム開発を中心にコンサルティング、開発者向けトレーニング、セミナーの講師を行う。2003年にUMTPが設立してからは、UMLモデリングの普及活動を行っている。『はじめて学ぶUML』、『ビジネスマンのためのUML入門』等、UMLモデリングに関する著書多数。

## ■プログラム

### 第1部:「IFRSの全体理解とIFRSの今後」

講師:坂尾 栄治

13:30—14:30

1. コンバージェンスとアドプション
2. 日本のコンバージェンス・スケジュール
3. ディスカッション・ペーパー(DP)の概要
4. DPとIFRSの基準との関係
5. IFRSの今後

### 第2部:「会計システムの視点から見るIFRS」

講師:原 幹

14:45—15:45

1. 会計システム ~取引データ、仕訳、決算、開示の流れ~
2. IFRS導入と業務改革の必要性
3. IFRSとITの関連、会計システムの位置付け
4. IFRS対応の方向性
5. IFRS対応のポイントー勘定科目コード体系
6. IFRS対応のポイントーシステム全体像
7. IFRS対応のポイントー個別の仕訳
8. IFRS対応ロードマップ

### 第3部:「IFRSーモデルによるアプローチ」

講師:竹政 昭利

16:00—17:00

1. 導入
2. 段階的アプローチ
3. IFRSとモデル化
  - 1)IFRSとモデルの親和性
  - 2)本質の理解とモデル化
4. モデルで整理する視点
5. アーキテクチャ
  - 1)継続的アーキテクチャ
  - 2)レイアアーキテクチャ
6. モデルのバリエーション
  - 1)プロセスモデル
  - 2)比較モデル

※ より新しい情報を織り込む目的等により、アジェンダの一部を変更することがあります。

## ■申込方法

参加ご希望の方は、

所属団体名、部署、お名前、e-mail アドレスおよび会員の方はITCPA/UMTP会員と明記の上、“IFRSセミナー参加申し込み”とe-mailの件名をつけ、10月9日までにUMTP事務局 [umtp-sec@umtp-japan.org](mailto:umtp-sec@umtp-japan.org) へメールでお申し込みください。後日、参加申し込み受付をメールでご連絡いたします。なお、お申し込みが定員を超えた場合は、事前に参加申し込みを締め切らせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

## ■お問い合わせ先



〒151-8404 東京都渋谷区代々木1-22-1 代々木1丁目ビル 3階 ジャパンシステム(株)内  
特定非営利活動法人UMLモデリング推進協議会 事務局 担当:小林  
TEL/FAX: 03-5309-0400 mail [umtp-sec@umtp-japan.org](mailto:umtp-sec@umtp-japan.org)



〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-17-5 CANALL日本橋2175  
特定非営利活動法人日本IT会計士連盟 担当:海老沼  
TEL/FAX: 03-5640-8326 mail [info@itcpa.jp](mailto:info@itcpa.jp)